



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

第81号 令和7年(2025年)10月 31日
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会

ボランティアセンターだより

ボランティアカフェの ごあんない



ボランティアセンターぶらっとでは、どなたでもご利用いただけるボランティアカフェを実施しています。第1月曜日ステッキ、第2火曜日さわやか、第2木曜日小さな手と、それぞれの登録ボランティアグループが担当しています。

カフェには、職員の他、近隣にお住まいの方や、ボランティア活動中の方、ボランティア活動に関心のある方などが来られ、コーヒーとお菓子を味わいながら交流を楽しんでいただいています。ぶらっと掲示板にはボランティア募集やイベント、助成金などの最新情報も掲示しています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

★カフェ日程★

第1月・第2火・第2木

13時半～15時半

一杯 100円

(コーヒー・おやつ付)



↑ステッキ



↑さわやか



↑小さな手

豊中市社協福祉大会 & ボランティアフェスティバル 開催のお知らせ

今年度も、豊中市立文化芸術センターにて豊中市社協福祉大会&ボランティアフェスティバルを開催させていただきます。

多目的室ではステージ発表やボランティアグループの紹介。展示室ではボランティア体験コーナーやカフェ、復興支援物産展、フードドライブなどを実施予定です。年に1度のお祭りを皆で楽しみましょう！ご参加をお待ちしております。

11/22(土)
10時～15時
開催

令和6年度の様子



◎活動に関心のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター「ぶらっと」

住所：豊中市中桜塚2-29-31

地域共生センター東館2階

電話：06-6848-1000

FAX：06-6841-2388

メール：tcpvc@gold.ocn.ne.jp



ホームページ



Facebook



きっかけづくり講座の報告

ボランティアセンターでは、「ボランティアをより身近に感じてもらいたい。」「ボランティアに一步踏み出すきっかけとなってほしい。」という思いで、今年度もさまざまな講座を実施しました。

災害ボランティア講座

災害支援に関心のある方などを対象に 6 月 21 日に講座を開催し、16 名のご参加がありました。

大阪府ボランティア・市民活動センターの土生祥代さんに「社会福祉協議会の災害ボランティアセンターについて」、輪島市社会福祉協議会災害たすけあいセンターの樋谷雅也さんには「能登半島地震の現状と災害たすけあいセンターの取組みについて」をお話しいただき、貴重な学びの時間となりました。

参加者からは、「改めて災害ボランティアセンターの役割について学ぶことができた」「なかなか知ることができない輪島の情報についても、聞くことができてよかった」との声がありました。



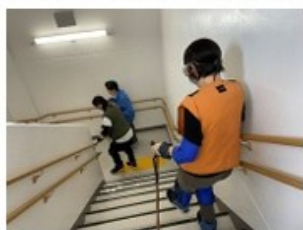
ボランティア はじめの一步講座

ボランティア活動の初級講座として 6 月 11 日、19 日の 2 日間、豊中市地域共生センターで開催しました。

1 日目は市社協勝部事務局から豊中市のボランティアについて講話し、各登録ボランティアグループから活動紹介や活動してよかったと思うことを報告いただきました。

2 日目は車椅子、アイマスク、インスタントシニア体験（高齢者疑似体験）をし、当事者がどのように感じているかを考える機会となりました。

2 日間を通して参加者がボランティアのはじめの一步を踏みだせるきっかけになったのではないのでしょうか。



インスタントシニア
体験の様子

多文化共生・外国人支援 ボランティア講座

8 月 29 日に、「マイクロアグレッション～外国ルーツの方とコミュニケーションをとるにあたって気をつけたいこと～」というテーマで、とんだばやし国際交流協会の北川知子理事長にご講演いただきました。具体例を通して、マイクロアグレッションやマイノリティの方に寄り添った関わりについて学ぶことができました。

昨年度より「タブボラ（多文化共生ボランティア）」を結成し、登録ボランティアグループとして活動中です。多文化共生ボランティアに関心のある方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。



ボランティア はじめま専科

9 月 17 日(水)に、市社協登録ボランティアグループ「ステッキ」の主催で開催しました。

市長寿社会政策課職員を講師に「高齢者の暮らしと介護保険」についてのミニ講座と「ステッキ」の活動内容についての紹介を行いました。

講座では、介護保険の概要全般の説明に加え、受講者の関心が特に高い高齢期の住まいの選び方、高齢者施設の種類等について学び、質問もたくさん寄せられました。





ICT × ボランティアセンターの取り組み



夏のボランティア体験プログラム 2025

ボランティア活動を身近に感じてもらう取り組みとして、「ボランティア体験プログラム2025」を8～9月の期間で実施しました。高齢者施設や保育所、子ども食堂、障害者作業所、校区福祉委員会等の協力を得て15種類のプログラムを用意し、小学生から社会人まで幅広い世代の方にご参加いただきました。

〈参加者の声より〉

実際に体験してみて、ボランティアさんや他に参加していた方との会話があたり、人とのつながりを味わえた時間でした。

☆今年度より初めてアプリを導入

今年度より ICT システムを導入し、ボランティアの申込みから活動後のアンケートまでの一連がアプリ上で行えるようになりました。

活動希望者の申込みがしやすくなり、若い世代・学生参加者が増加しました。「ボランティアを始めてみたい」という方を後押しするため、今後も改良を重ねていく予定です。



スマホからプログラムの選択や予約が可能に



ボランティア登録 & LINE 公式アカウントの友だち登録をお願いします！

- ボランティアセンターでは登録ボランティアの方向けに、LINE 公式アカウントでボランティア活動先や講座等のご案内をさせていただいております。友だち登録は、下記 QR コードより登録できます。
- 活動にあたってのボランティア登録は、市社協窓口で受け付けています。登録用紙に必要事項を記入するだけで登録できます。
- LINE 公式アカウント、メール配信（希望者のみ）、Facebook ページや、ボランティアセンター「ぶらっと」の掲示の中で関心のある活動があれば、ボランティアセンターにお問合せください。依頼先と調整します。



←公式 LINE
アカウント



←Facebook
アカウント

災害ボランティアセンター
立ち上げ訓練

～災害に備えて

ボランティアセンターとしてできること～

能登半島地震や各地で豪雨災害に見舞われる昨今、いっどこで大災害に見舞われるか予測がつかない状況です。

ボランティアセンターとして 阪神・淡路大震災で被災して以来、ほぼ毎年災害支援ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しています。

昨年度からシステムを導入し運用をできるだけ簡素化し、データ管理できる方法を模索しています。本年度も令和 8 年 1 月 17 日に訓練実施予定をしています。関心のある方はボランティアセンターまでお問い合わせください。



←令和 6 年度
スマホを使用した
ボランティアの受付の
様子

とよなか地域ささえ愛ポイント事業

とよなか地域ささえ愛ポイント事業は、満 65 歳以上の豊中市民の方が、市内の対象となる活動を行うことで、活動時間に応じたポイントが付与されるしくみです。活動通してボランティアの楽しさを知りながら、自身の健康づくりや、地域の福祉施設・福祉活動への理解を深め、介護予防の推進のきっかけとすることが目的です。たまったポイントは、活動支援金として換金、またはマチカネポイントに交換することが出来ます。

【活動登録説明会】

日 時：第 1 月曜日、第 4 火曜日 10 時～12 時
場 所：豊中市地域共生センター東館 3 階会議室
対 象：豊中市在住の満 65 歳以上の介護保険第 1 号被保険者
申込み：事前予約制（電話：06-6848-1000）



年賀状ボランティアの お知らせ

ボランティアセンターでは、毎年ひとり暮らし老人の会会員の皆さまに向けてボランティア作成の年賀状をお送りしています。昨年度は、583 名の方にお送りしました。

今年度も裏書きのボランティアを募集します。実施日の前日までにお電話でお申込みください。

〈日時〉

- ①11 月 12 日（水）AM ②11 月 17 日（月）PM
③11 月 20 日（木）PM ④11 月 26 日（水）PM
⑤11 月 27 日（木）AM ⑥12 月 3 日（水）AM
⑦12 月 5 日（金）PM

（AM…10 時～12 時 PM…14 時～16 時）

〈場所〉

豊中市地域共生センター東館 3 階 会議室

ボランティア保険の ご案内

安心してボランティア活動をしていただくために、活動中や、活動先と自宅との移動中に起きた事故などを補償する制度があります。窓口でお手続きください。

○ボランティア活動保険

…活動中の事故や賠償責任に備え、ボランティアの方が加入できる年間保険です。

○ボランティア・市民活動行事保険

…行事の主催者が、スタッフ・参加者がケガや賠償責任を負った場合に備えた、イベント単位の保険です。

※大阪府社会福祉協議会のホームページからパンフレットが閲覧できます。

編集後記

大阪関西万博が、184 日間の会期を終えて閉幕した。パビリオンの大半は撤去されるが、大屋根リングの一部は珠洲市の復興住宅の資材として活用されるという。

10 月中旬、仲間とともに能登半島を訪れ、始めて先端の珠洲市まで足を伸ばした。道路は随分よくなってはいるが、金沢からは 4 時間を要する。地震から 1 年 10 か月を経てなお液状化現象で傾いた柱はそのままであった。能登から目をそらさない！！（わらびっこ・M）